

豊川ロータリークラブ創立 60 周年記念事業



ダメ親と呼ばれても
学年ビリの3人の子を信じて
どん底家族を再生させた母の話

映画ブリギヤルのモデルとなった主人公の親子で語る

小林さやか 橘 ころろ

トークセッション&講演会

映画
ブリギヤル
学年ビリのギャルが
1年で偏差値を40上げて
慶應大学に現役合格した話

©『ダメ親と呼ばれても学年ビリの3人の子を信じて
どん底家族を再生させた母の話』
(ああちゃん・さやか(ブリギヤル)著 /
株式会社 KADOKAWA アスキー・メディアワークス発行)

**入場
無料**

日時 平成 31 年 **3 月 24 日 (日)** 受付 12:00 ~
講演会 13:00 ~ 16:00
場所 豊川高等学校 鳳翔閣 (講堂)

第1部

豊川市内高校 6 校生徒とのトークセッション
テーマ：夢ってなんだろう? ~夢を語ろう!~

第2部

講演会 小林さやか 氏
橘ころろ 氏

profile



■小林さやか

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』(坪田信貴・著)の主人公=ブリギヤル。1988年3月生まれ、名古屋市出身、東京都在住。高2の夏に小学4年レベル、偏差値30の学力しかなく、教師に「人間のクズ」と呼ばれたことも。その後、1年で偏差値を40上げ、複数の難関大学、慶應義塾大学に現役で合格。卒業後はウェディングプランナーとして活躍、2014年にフリーランスに転身。現在は全国への講演活動やイベントの企画運営をしながら、札幌新陽高校にて「校長の右目」という役職にてインターンをするなど、多岐に渡り活動中。



■橘ころろ

主人公ブリギヤルの母。通称ああちゃん。子供たちに「勉強しなさい」といったことはないが、いつもワクワクしてほしいと伝えてきた。冷え切った家庭環境の中で、試行錯誤しながら、3人の子育てをするも、失敗だらけの日々。姉は、ブリギヤル、弟は、自暴自棄、妹は不登校・ダメな親と呼ばれる。しかし、「いつでも子供に寄り添い、あきらめず、信じる」といった信念のもと全く新しい子育てを始めた結果、姉は、慶應義塾大学に現役合格、弟(長男)は、立ち直り、妹は、不登校状態から上智大学に合格。どん底から奇跡を起こす。現在は、自身の経験をもとに、全国の、悩みを抱えた保護者の方たちに講演を行う。

会場案内



駐車場が満車の場合
稲荷大駐車場(有料)等をお願いいたします。